

ピースワンコ NEWS

Vol.15

ピースワンコ・ジャパンは支持してくださる多くの方々とともに、殺処分機の最後の1台を止めるまで活動を続けます。



卒業犬が1,000頭を超えました！

ピースワンコ・ジャパンの卒業犬が8月、1,000頭に達しました。家族として迎えてくださった里親さんはもちろん、活動を応援してくださるすべての支援者の皆さまのおかげです。心からお礼を申し上げます。1,000頭はひとつの通過点にすぎませんが、大台到達を励みに、これからも幸せなワンコをもっと増やしていきたいと思います。

広島県で殺処分対象になった犬の「全頭引き取り」を始めてから2年半。私たちは、想定をはるかに超える数の引き取りに対応して急ピッチで犬舎を増設し、譲渡の増加にも懸命に取り組んできました。2,500頭もの保護犬たちのお世話にかかる手間とお金は並大抵ではなく、「殺処分ゼロ」が決して簡単ではないことを実感していますが、スタッフ一同、絶対にあきらめない覚悟で日夜努力を続けています。

卒業したワンコは、9月末には1,060頭になりました（他に、迷い犬として保護し、元の飼い主さんにお返しした犬も65頭います）。その1頭

1頭に、保護されるまでの物語があり、かけがえのない命があります。殺処分される運命だったワンコたちが里親さんとの出会いを果たし、家庭に迎えられるのは、奇跡のようにも思えます。そんな幸せなご縁をひとつでも多く、支援者の皆さまと一緒につくることが、私たちの一番の喜びです。

努力の甲斐あって、昨年度は1816頭を数えた保護頭数が、今年度は約3分の2のペースにまで減っています。逆に、譲渡できた頭数は、8月、9月と2カ月続けて過去最高を記録しました。この勢いをさらに加速するため、11月には岡山市に7カ所目の譲渡センターをオープンさせる予定です。

譲渡が保護頭数を上回るまで、もうひと頑張り。保護犬を迎えるという選択肢を多くの方に知っていただき、一日も早く実現したいと思います。皆さまの一層のご支援を、よろしくお願ひいたします。

卒業おめでとう

里親さんインタビュー 岡本理奈さん（福山市）

神石高原に遊びに行った時、ピースワンコでお話だけ聞こうと寄ったら“ちゃちゃみ”と出会いました。他のワンコの後ろのほうで、きょとんとした目が可愛らしくて一目惚れです。先住猫がいて、神石高原と違って車の多い街中なので、トライアルで慣れてくれるか心配でしたが、他のお家にもらわれていくより、自分達で頑張ったほうがこの子を幸せにしてあげられるのではないかと思いました。

以前、チワワを飼ったことはありますが、保護犬を飼うのは今回がはじめてです。吠える犬ほど人の愛情を求めていますね。お散歩に行って最初はびくびくしていたけど、少し心を許して鳥を追いかけたりする様子が可愛いです。ペットショップで買う犬とはちょっと違う愛情かもしれません。私が守ってあげないと、という気持ちが強くなるんです。トライアルで譲渡まで時間をかけましたが、それも家族皆で命を預かることに覚悟が出来ました。赤ちゃんが産まれるまで準備することと同じですね。

ちゃちゃみが来てから、シンドい事があつてもこだわらなくなりました。癪されているんでしょうね。この子の方が苦労してきたんだろうし、大した事ないかって思えるんです。びびりちゃんなので、ちゃちゃみを中心によつたりした生活に変わりました。10月に家族でちゃちゃみと一緒に旅行に行こうと楽しみにしています。犬をちょっと飼いたいな、という人がみな保護犬を引き取ってくれたら、2,000頭のワンコの里親さんを見つけることは出来ると思います。保護犬との出会いが増えればいいですね。



地域の課題を解決するために、ふるさと納税を活用しよう！

＼ふるさと納税とは？／

あなたが「応援したい」自治体に寄付をすると、寄付をした金額は手続きを取ることで所得税や住民税から還付・控除され、寄付者の負担が軽減される仕組みです。生まれ故郷でなくても構いません。寄付をすると地域貢献につながったり、地域の名産品などのお礼の品が貰えるため、多くの方に利用されています。

ふるさと納税のメリット

税金が控除・還付される

寄付した金額は、所得税や住民税から還付・控除を受けることができます。※控除の上限は収入や家族構成で異なってきます。

御礼の品がもらえる

多くの自治体では寄付の御礼として地域の名産品などを寄付者に届けています。

地域貢献につながる

自治体が抱える問題解決のために、自治体の取り組みに対して具体的に応援できます。

自分の好きな地域を選べる

ご自分が生まれた地域以外でも自由に寄付先が選べます。また、複数の地域を応援することも可能です。

寄付金の使い道を選べる

寄付金を自治体がどのように使用するのか、その用途を事前に選択できるので使い道の観点から寄付先を選ぶことができます。

ふるさと納税の仕組み

(例: ピースワンコ・ジャパンのプロジェクトへ寄付した場合)

お礼・報告

ピースウインズ・ジャパンからお礼の品が送られます。

寄付金の使途

「ピースワンコ・ジャパン」プロジェクトとして、災害救助犬・セラビティ犬の育成、捨て犬や迷い犬の保護・譲渡のほか、他団体と協力して猫の保護もしています。いただいたご寄付は、犬舎の建築・維持費、犬のフード代、医療費などに使われます。

翌年の住民税から控除

住んでいる
自治体

ピースワンコ・ジャパンの本部がある神石高原町の特産品が返礼品として貰えます！

夢之丞人形



ドライビオーネセット

神石高原町は広島県東部の中国山地に位置する、人口約1万人の町です。ピースウインズ・ジャパンはここに本部を置き、捨て犬や迷い犬の保護・譲渡・殺処分ゼロに向かって活動をしています。また、町と協力し、地域活性化にも貢献しています。



こんにゃく詰め合わせ

ふるさと納税の しくみ



寄付金の95%

がピースウインズ・ジャパンへ

(5%は町が行う団体支援等の事業に活用されます。)



お申し込み
方法例

ふるさと納税サイトから申し込む

例) ふるさとチョイス <https://www.furusato-tax.jp/gcf/259>

ピースワンコ ふるさと納税 検索

自治体のホームページから申し込む

例) 神石高原町 <http://www.jinsekigun.jp/ja/town/introduction/formation/kikaku/kikaku/furusatonouzei/>

神石高原町 ふるさと納税 検索

申込書を送付（ピースワンコへお電話いただければ郵送いたします。）



活動ダイジェスト

ピースワンコ・ジャパンを運営しているピースウインズ・ジャパンは関係団体と合同でレスキューチームと救助犬を日本及び東南アジア2カ国に派遣しました。

2018年7月 … 西日本豪雨（広島県安芸郡）

2018年8月 … ロンボク島北部地震（インドネシア）

2018年9月 … 平成30年北海道胆振東部地震（北海道厚真町）

台風22号（マンクット）（フィリピン）



西日本豪雨へ出動した救助犬3頭



ロンボク島へ出動した救助犬3頭



ピースワンコ「華丸」物語

— ピースワンコで暮らしているワンコ達をご紹介します —



わしは、華丸。

ピースワンコへ来る前は、ハナ君と呼ばれておった。鼻が大きいけえ、ハナ君と名付けたとじいさんが言うとった。ハナという名前の犬が、ピースワンコにはおったけえ、わしは華丸と洒落た名前になったわ。じいさんと二人暮らしじゃったが、じいさんの身体の具合がようなくて、わしはピースワンコに引き取られた。

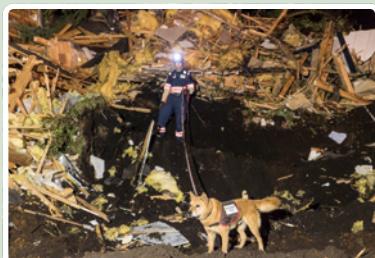
言うても当時わしも13歳を越えとるじいさん犬じゃった。今、推定16歳じゃ。ヒトと長いこと暮らしとったけえ、ヒトとは仲ようできるが、若いオスのやんちゃ坊主は苦手じゃ。身体は元気じゃが、フィラリア症になつとった。それでも人懐っこいわしは、よう譲渡会に行ったもんじゃ。譲渡会メンバーのレギュラーじゃった。年寄じゃがビーグルMIXのような雰囲気と、童顔の顔は譲渡会の人気者じゃったわ。わしももう一度、ヒトと暮らせるように精一杯アピールしとった。じゃが、なかなかわしを家族にしてくれるヒトには出会えんかった。

あれから、3年が経った。突然わしの引っ越しが決まったんじゃ。なんと行先は東京じゃ！ 東京に、わしに会いたいというヒトがあるというんじゃ。なんでも、昔飼うとった犬とわしがそっくりじゃと。わしを飼いたいといつてもくれている。似ているからと言って、わしはその犬でもないし、気に入つてもらえるとも限らん。でもスタッフは、「華丸、ラストチャンスかもしれないよ。もう一度頑張ってみようよ。」と言って、わしを東京へ連れていってくれたんじゃ。

他の若い犬達とわしは、車で休み休みしながら、10時間かけて東京都あきる野市にある、ピースワンコあきる野譲渡センターへやってきた。あきる野市は、東京都と言っても山の中で、なんだか神石高原町とえっと変わらん感じがしたわ。野生動物の匂いも

するし、わしはここが気に入った。しばらくして、わしを飼いたいという家族がやってきた。会うなり、そのお母さんはわしを見るなり、涙ぐんである。わしは初めましてと挨拶をしたが、懐かしいと言うんじゃ。不思議な感じじゃのう。そして、その家族にはマルチーズも一緒だった。おいおい犬も一緒か。わしは生意気なやつは好かんぞ。でもその犬は、挨拶をしてそのあとは、われ関せずといった様子で、とてもマイペースな犬じゃった。わしもさほど気にならず、お互いうまくやつていけそうな感じじゃった。それで、わしはトライアルといってお試し宿泊に行くことになった。

ハナ君、ハナ君と呼ばれ、昔じいさんにそう呼ばれとったことを思い出した。なんだか懐かしい。16歳のわしにとってもう一度家族ができるなんて。もうあきらめていたけど、短い時間かもしれないがもう一度家族と暮らすというのはとても幸せなことだね。まだまだ散歩も好きだし、童顔のおかげで東京でも16歳には見えないと言ってもらえるのも悪くない。神石高原の暮らしも好きだったけど、家族と毎日一緒に暮らすは、本当にホッとするよ。あれ? いつの間にか、言葉も広島弁から東京の人のような言葉になっているね。馴染んでいるってことなのかなあ。



北海道胆振東部地震 夜間の捜索



フィリピンへ向かう救助犬 2頭

ペットの一時預かり（岡山県倉敷市真備町）

一部の避難所ではペット同伴が禁止され、避難所の外や車で避難生活を送る人も見受けられました。また、昼間にペットを預ける必要がある人もいたため、岡山県獣医師会や関係団体と協力し、岡山県倉敷市真備町の「真備総合公園」でペットの無料一時預かり所（「にゃんディケアハウス」）を開設しました。



スタッフの1日



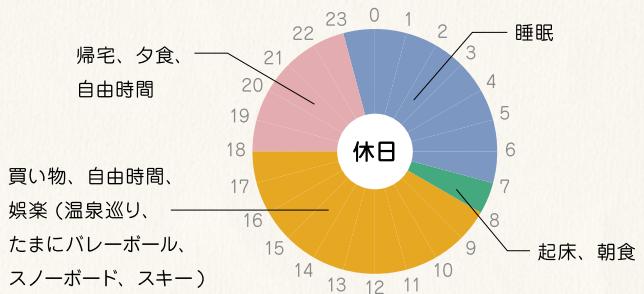
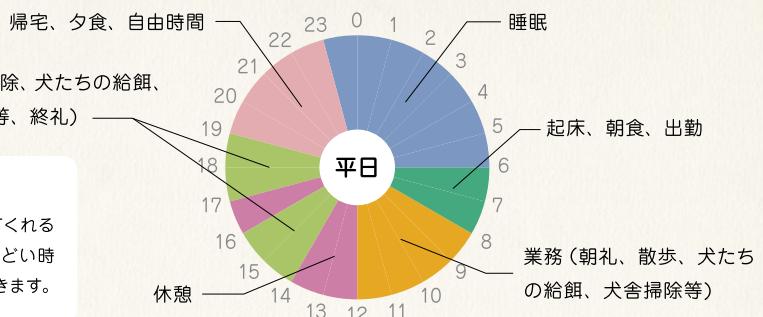
ワンコスタッフ 林さん

大変なこと

ピースワンコの西山犬舎のワンコ達は癖の強い子が多いので、ちょっとしたことでも怒ることが多く、扱いが難しいところ。

嬉しいこと

ワンコ達が自分に心を許してくれる時は凄く嬉しいですし、しんどい時でも頑張ろうと思うことができます。



ワンだふるファミリー (WF) を拡大します！

WFは、ピースワンコにいる保護犬の中で、病気や障害、気性難など、様々な理由によって譲渡が難しいワンコたちでも、遠方から家族として支えていただき、幸せに過ごして欲しいという想いからスタートしました。

そして、本来であれば家族を持つことができなかった60頭以上のワンコたちが、家族を持ちながら幸せに過ごすことができたり、また家族に支えられながら虹を渡すことができました。ピースワンコ全体で保護しているワンコたちは、2014年12月のWFのスタート時は200頭程度だったものの、現在は約2,500頭まで増えています。

そして、現在保護しているワンコの8割以上が野犬として育ったワンコのため、スタッフ以外の人間になかなか心を開かず、譲渡が難しいワンコたちの数が保護しているワンコ数に比例して多くなっています。

今後、少しでも多くのワンコたちが家族を持ちながら幸せに暮らせるように、ワンだふるファミリーの対象として家族を募集するワンコたちを増やしていくことになりました。1頭でも多くの譲渡が難しいワンコが、幸せに暮らせるようご協力ください。



2019年 ワンコカレンダー、 救助犬カレンダー発売！！

毎年、ご好評を頂いておりますピースワンコのチャリティーカレンダーの2019年版が完成しました！今年もワンコの多彩な表情溢れる1冊となっています。ご自宅用・プレゼント用にぜひ、ご利用ください！

お知らせ



岡山譲渡センター

全国で7ヶ所目となる譲渡センターが11月（予定）岡山県岡山市にオープンします！セミナー室も完備している譲渡センターへ是非、お気軽にお越しください。

11月1日OPEN! 予定



岡山譲渡センター：〒700-0951 岡山県岡山市北区田中109番地103
メールアドレスは okayama@peace-winds.org



ピースワンコ・ジャパン

〒720-1702 広島県神石郡神石高原町上豊松72-8 TEL/FAX: 0847-89-0039

<https://peace-wanko.jp/> ピースワンコ・ジャパン 検索



<発行> 特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン

ピースワンコ・ジャパンプロジェクトは、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパンが運営しています。

<https://peace-winds.org>